

# 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新しい年を健やかに  
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

市長就任以来、あつという間の8カ月間でしたが、大  
変充実した日々でもありました。

昨年を振り返りますと、6月には職員の働き方改革  
を目指して「モチベーション係」を改編しました。改  
革は始まつたばかりで前途多難ですが、その先の組織  
再編とDX化を進めてまいります。

7月にはミジユマル公園ができ、新しい観光スポット  
が増えました。一方、カムチャツカ沖地震による津  
波では、浦村地区のカキ筏が被害を受け、多方面から  
ご支援をいただきました。改めて御礼を申し上げます。  
8月は雨の少ない暑い夏になり、道路にはいつにも  
増して雑草がうつそうと生い茂り、三重県への要請を行  
った結果、鳥羽駅～ミキモト真珠島入口までの歩道  
の海側に、草の生えにくい特殊な加工をしていただき  
ました。引き続き道路の整備を含め、「国際観光文化都  
市」にふさわしい景観保持に努めます。

11月には「全国豊かな海づくり大会」に先立ち、天  
皇皇后両陛下が鳥羽水族館にお立ち寄りくださいまし

た。大会で朗読された本市中学生の作文「海苔で伝  
える海の危機」は、多くの人々に共感と感動を与えてく  
れました。また、日仏海洋学シンポジウムが本市で開  
催されるなど、改めてみなとまち鳥羽の可能性を強く  
感じました。

昨年は鳥羽港に26隻の大型クルーズ船を受け入れま  
した。今年もすでに37隻の入港が予定されており、海  
の玄関口としての重要性の高まりから、国際交流や受  
け入れ態勢の強化に取り組んでまいります。

今年は情熱や変化を象徴するとされる「丙午」の年で  
す。本市にとつても大きく羽ばたく一年となるよう、「み  
なとまち再生」「若者世帯の定住」「鳥羽の暮らしを守る」  
「災害から鳥羽を守る」の実現に努めてまいります。

改めまして、本年が皆様にとって素敵な一年になり  
ますようにご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせてい  
ただきます。

新年、明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、鳥羽市議会を代表して謹んで新年  
のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと  
心よりお慶び申し上げます。また、平素より市議会  
の活動に温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申  
し上げます。

昨年は、依然として物価高騰が続き、地域経済や市  
民生活にも大きな影響が及んだ1年でもありました。

食料品などの生活必需品の価格の上昇は、ご家庭  
の家計への大きな負担のみならず、地域産業にも嚴  
しさをもたらしました。

また、本市が直面する大きな課題の一つが人口減少  
と高齢化に伴う「地域の担い手不足」であります。  
地域での行事や自主防災活動、漁業や観光などの現  
場でも次の世代の確保が求められています。こうし  
た状況を踏まえ市議会では、令和7年度、市民の声  
を議会に届ける新たな仕組みとして「市議会サポー  
ターアイド」をスタートさせました。議会活動への理  
解を深め、皆様の声にしっかりと耳を傾け、議会と  
してのチェック機能を果たしながら、市民目線での  
政策立案や提言を進め、地域がさらに活力あるもの

となるよう取組を進めています。

令和8年は丙午・午年にあたります。「午」は前  
進や活力を、「丙」は明るさと勢いを象徴するとさ  
れています。

私たち市議会は、市民生活の安心と地域経済の確  
かな基盤づくりに向け、引き続き真摯に議論を重ね  
てまいります。そして、市民の皆様と共に「選ばれ  
るまち・住み続けたいまち」の実現に向け力を尽く  
していく所存です。

市民の皆様のご健康とご多幸、そして本年が明る  
く実りある一年となりますことを心からお祈り申し  
上げるとともに、引き続き市議会への温かいご支援  
とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご  
挨拶とさせていただきます。

鳥羽市議会議長  
河村 孝

鳥羽市長  
小竹 篤

